

4 安定した給水の確保に対する取り組み

安定した給水の確保に対する取り組みについてお聞きします

問5 水道局では、災害などの非常時においても安定して水道水を供給するために施設を新しくしたり、改良したりするなどの取り組みを進めています。

そこで、ア～ウの取り組みについて、あなたが思う「満足度」を、それぞれ選んでください。
(〇は1つだけ)

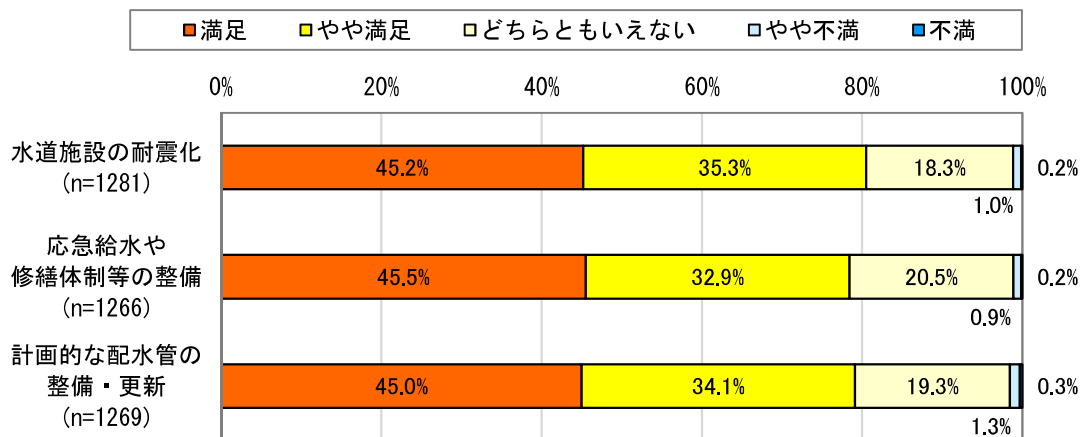
	満足度				
	満足	やや満足	いえない	どちらとも	やや不満
ア. 水道施設の耐震化 浄水場や配水場等の耐震化を計画的に推進するとともに、配水管の整備や更新時には、地震に強い管を採用しています。また、地震等による断水被害を極力限定・縮小化するために、配水区域の細分化や、断水時の相互融通を目的とした、浄配水場間を結ぶ連絡管の整備を進めています。	5	4	3	2	1
イ. 応急給水や修繕体制等の整備 水道管の一部が事故や災害などで破損した場合に、速やかに応急給水や修繕を行えるよう機材等の整備を行うとともに、他都市や民間業者との応援協定を締結するなど応急給水体制の整備を行っています。	5	4	3	2	1
ウ. 計画的な配水管の整備・更新 経年劣化に伴う漏水事故を未然に防止するため、配水管の更新を進めるとともに、今後の市街化区域などの動向を踏まえ、計画的な配水管の整備を行います。	5	4	3	2	1

問5-1 災害に備え、1人1日あたり3リットル、3日分で9リットル程度を目安として、飲料水備蓄をお願いしています。あなたのご家庭では、1人あたり、どのくらいの量の飲料水を備蓄していますか？ (〇は1つだけ)

1 9リットル以上 (3日分以上)	2 6～8リットル	3 3～5リットル
4 3リットル未満	5 備蓄していない	

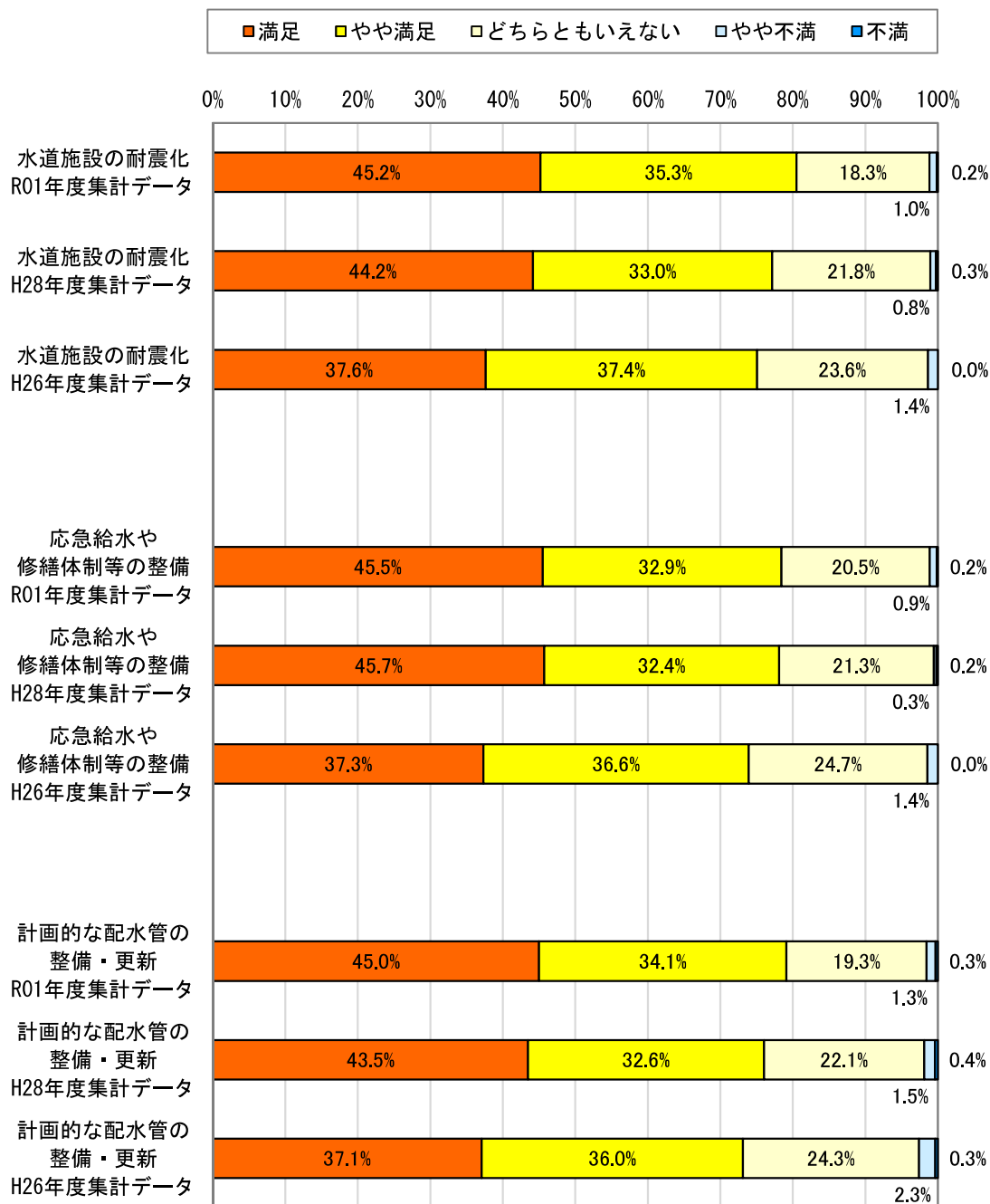
(5) 安定した給水の確保に対する取り組みについて

取り組みについての満足度



取り組みについて、『満足』『やや満足』を合わせた割合は、「水道施設の耐震化」が80.5%、「応急給水や修繕体制等の整備」が78.4%、「計画的な配水管の整備・更新」が79.1%で、いずれも約8割を占めた。

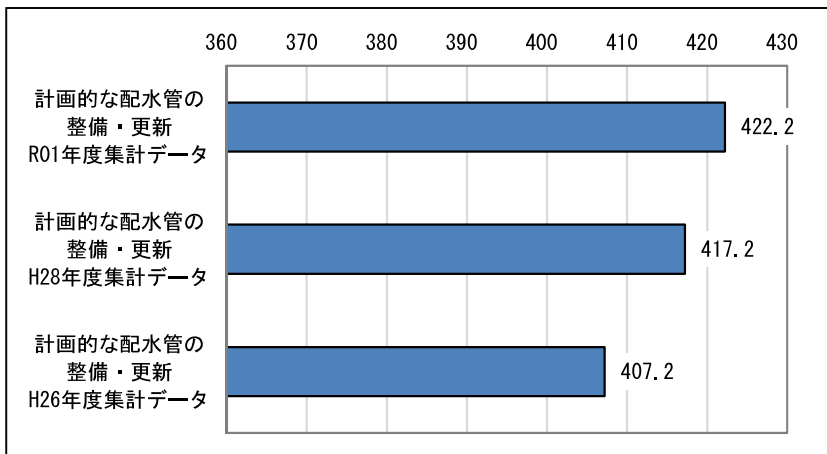
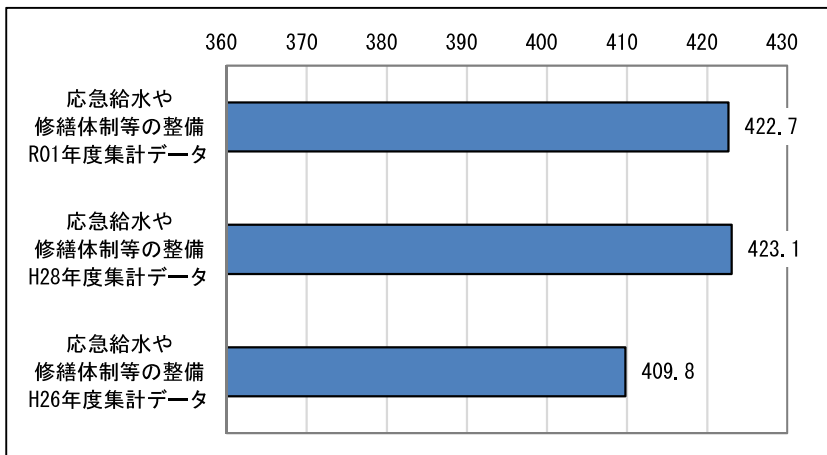
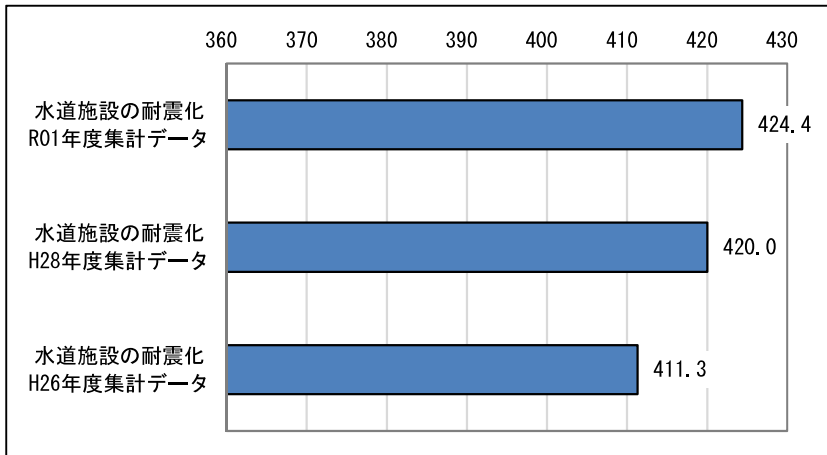
(安定した水道水の供給への満足度の経年比較)



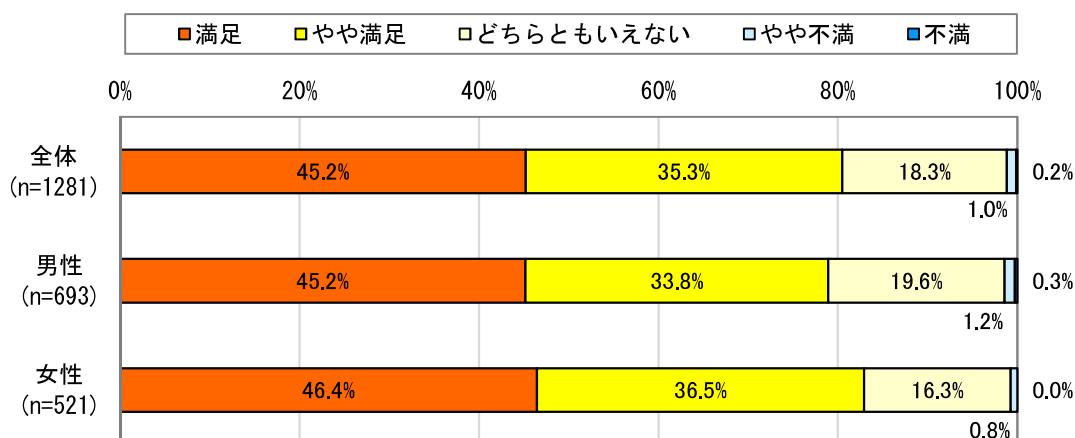
安定した水の供給への「満足度」を調査したものを過去年度に調査したデータと比較した。全ての項目で『満足』『やや満足』を合わせた割合は増加傾向に推移している。

(安定した水道水の供給への満足度のポイント換算)

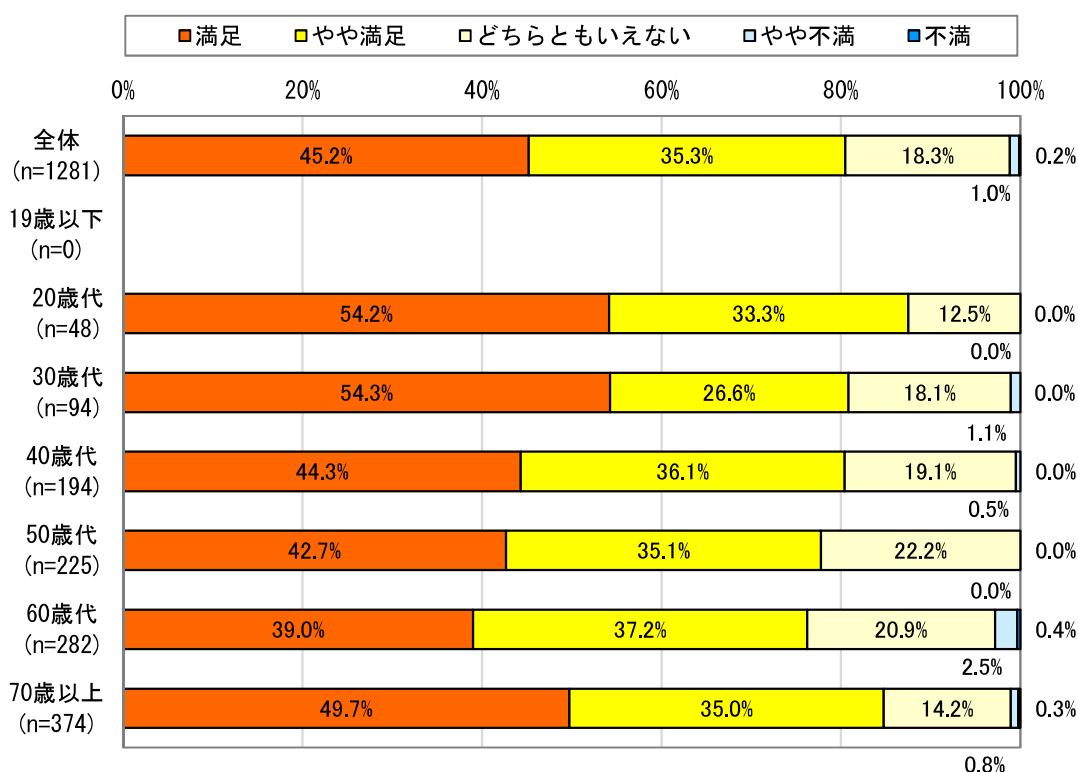
『水道施設の耐震化』『計画的な配水管の整備・更新』で引き続き増加傾向がみられ、前回と比べて、各4.4ポイント、5.0ポイント増加した。『応急給水や修繕体制等の整備』は、前回と比べて0.4ポイント微減している。



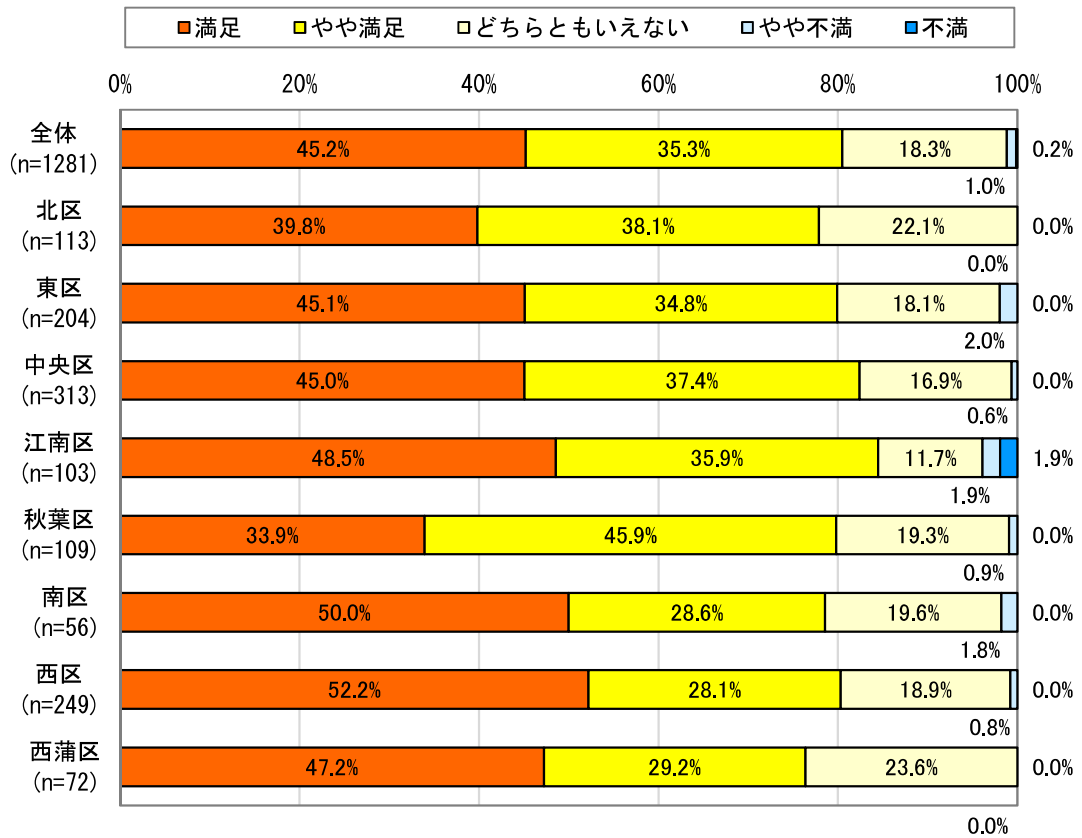
①水道施設の耐震化に対する満足度



性別で見ると、『満足』『やや満足』を合わせた割合は、男性が78.9%、女性が82.9%で、女性の方がやや高くなっている。

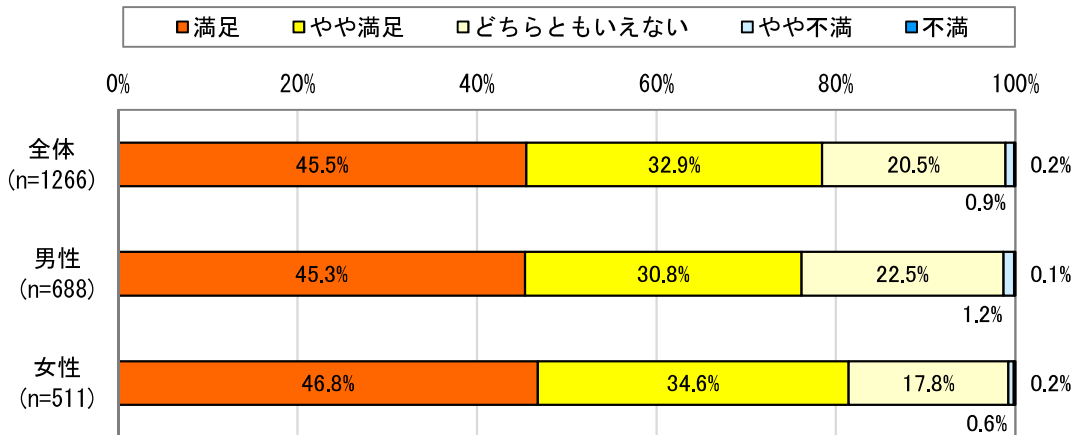


年代別で見ると、『満足』『やや満足』を合わせた割合は、20歳代が87.5%で最も高い。次いで70歳以上が84.8%、30歳代が80.9%、40歳代が80.4%の順が続いている。60歳代までは若年層ほど割合が高い傾向がみられる。

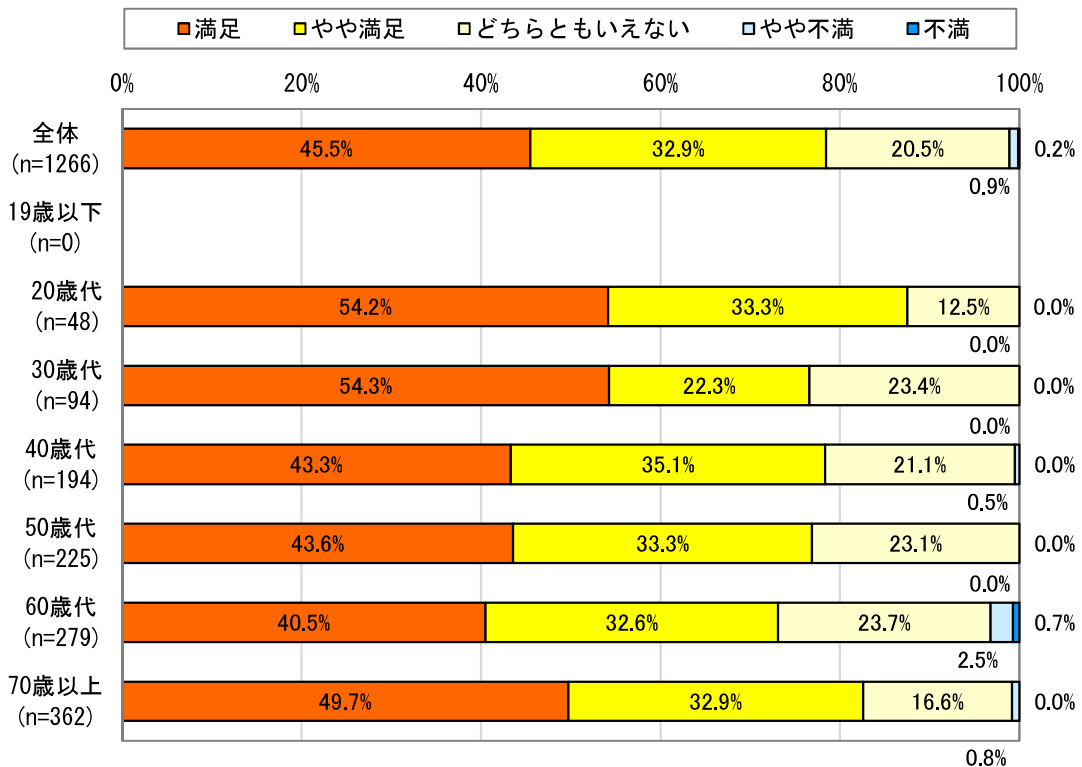


居住区別でみると、『満足』『やや満足』を合わせた割合は、江南区が84.5%で最も高い。次いで中央区が82.4%、西区が80.3%、東区が79.9%の順が続いている。

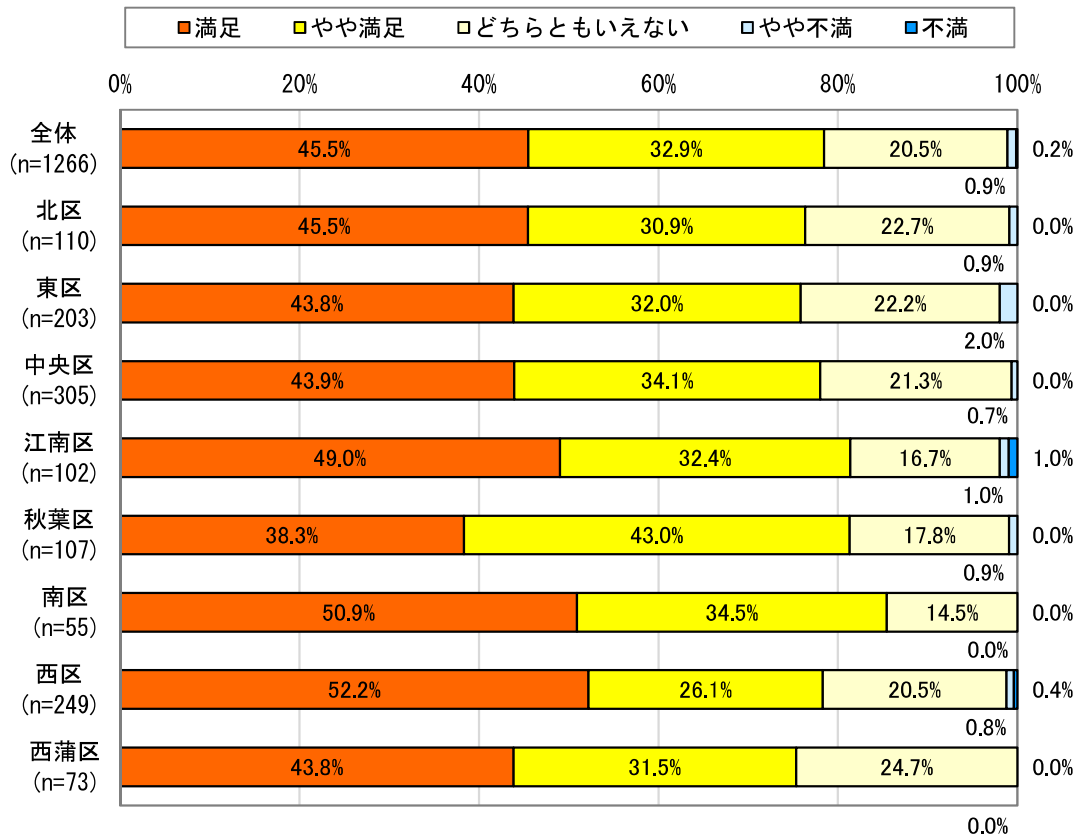
② 応急給水体制等の整備に対する満足度



性別で見ると、『満足』『やや満足』を合わせた割合は、男性が76.2%、女性が81.4%で、女性の方が割合が高くなっている。

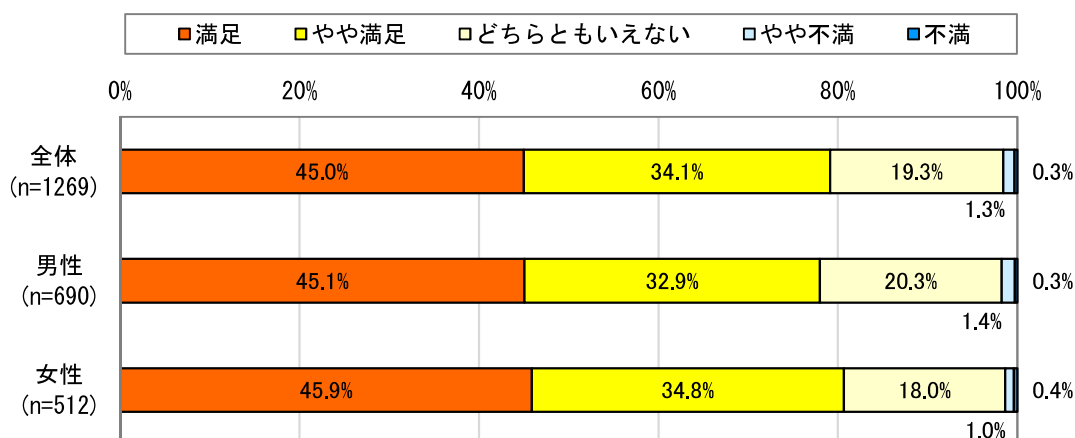


年代別で見ると、『満足』『やや満足』を合わせた割合は、20歳代が87.5%で最も高い。次いで70歳以上が82.6%、40歳代が78.4%、50歳代が76.9%の順が続いている。

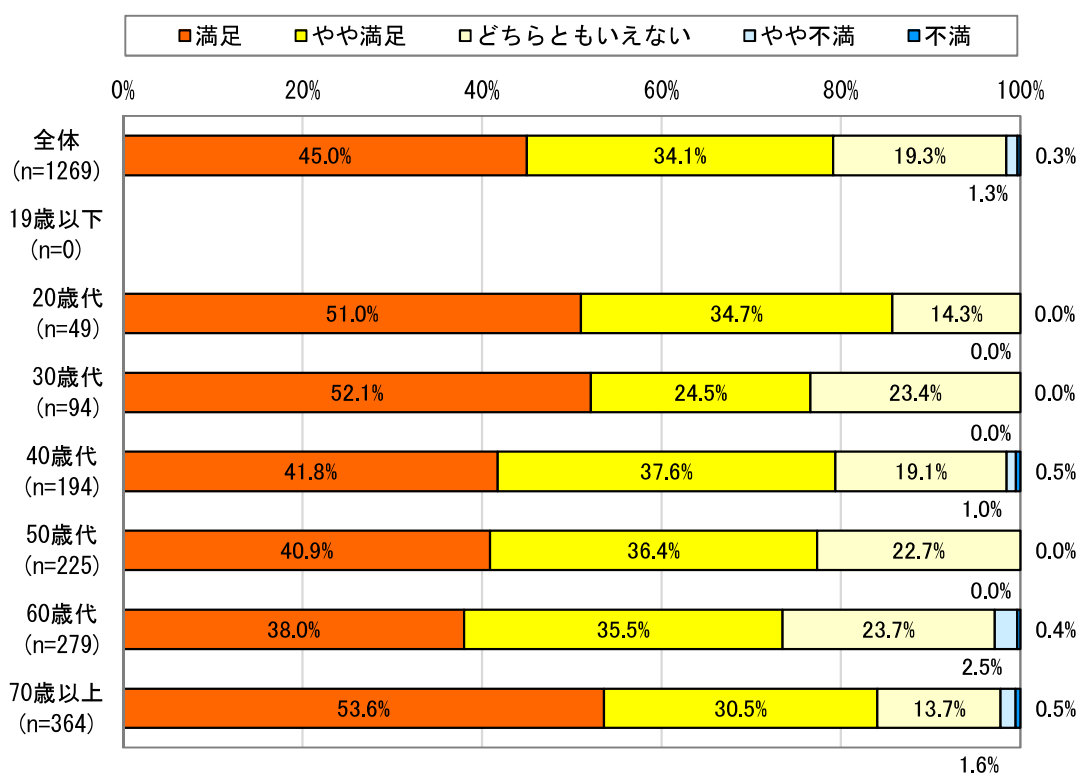


居住区別でみると、『満足』『やや満足』を合わせた割合は、南区が85.5%で最も高い。次いで江南区が81.4%、秋葉区が81.3%、西区が78.3%の順が続いている。

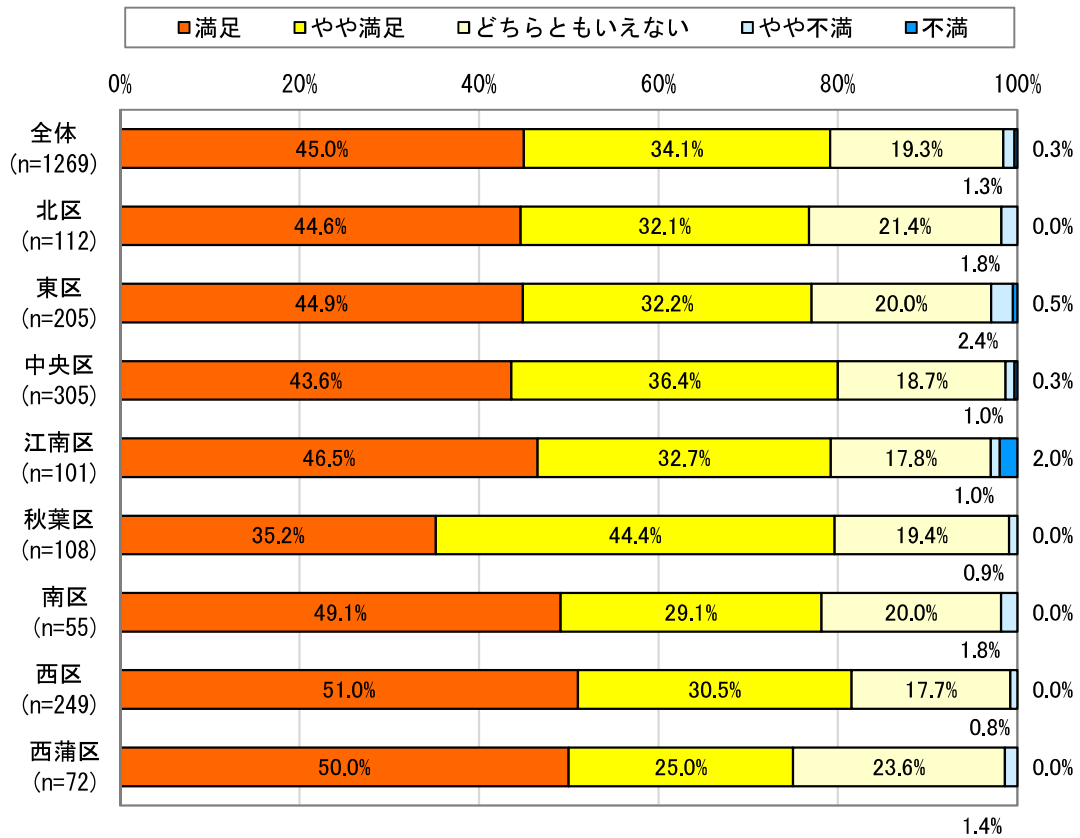
③計画的な配水管の整備の取り組みに対する満足度



性別で見ると、『満足』『やや満足』を合わせた割合は、男性が78.0%、女性が80.7%。性別による差はあまりみられない。

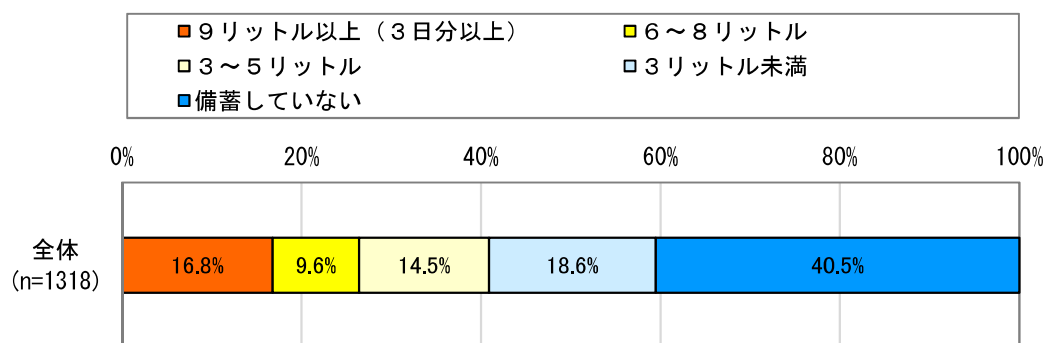


年代別で見ると、『満足』『やや満足』を合わせた割合は、20歳代が85.7%で最も高い。次いで70歳以上が84.1%、40歳代が79.4%、50歳代が77.3%の順が続いている。



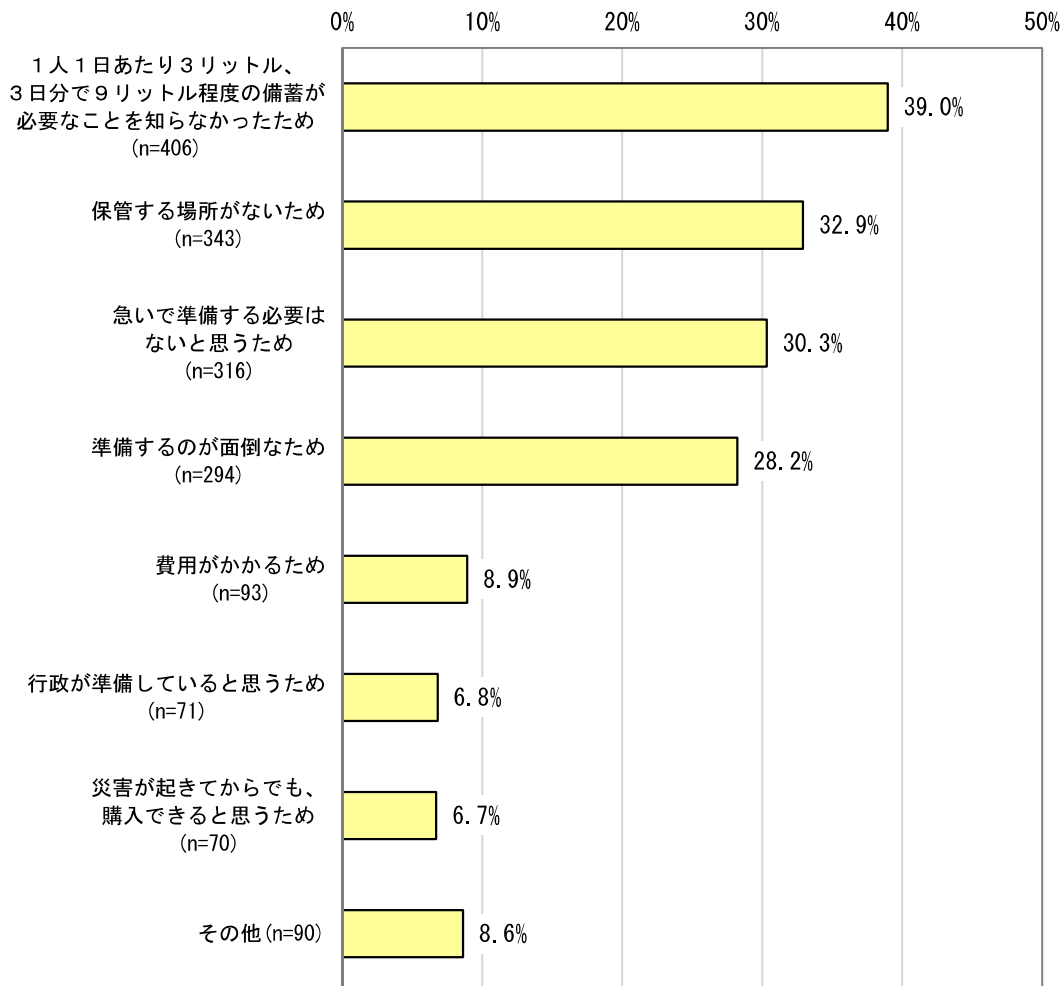
居住区別でみると、『満足』『やや満足』を合わせた割合は、西区が81.5%で最も高い。次いで中央区が80.0%、秋葉区が79.6%、江南区が79.2%の順が続いている。西蒲区では7割半ばで、他の地区と比べて割合がやや低い。

(該当質問5-1) 家庭における1人あたりの飲料水の備蓄量



備蓄量について全体で見ると、「9リットル以上（3日分以上）」が16.8%、「6～8リットル」が9.6%、「3～5リットル」が14.5%、「3リットル未満」が18.6%で、「備蓄していない」が約4割を占めた。災害時における3日分の必要量（1人あたり9リットル目安）に満たない家庭は、83.2%となっている。

(該当質問5-2) 備蓄量を満たしていない理由 (複数回答)



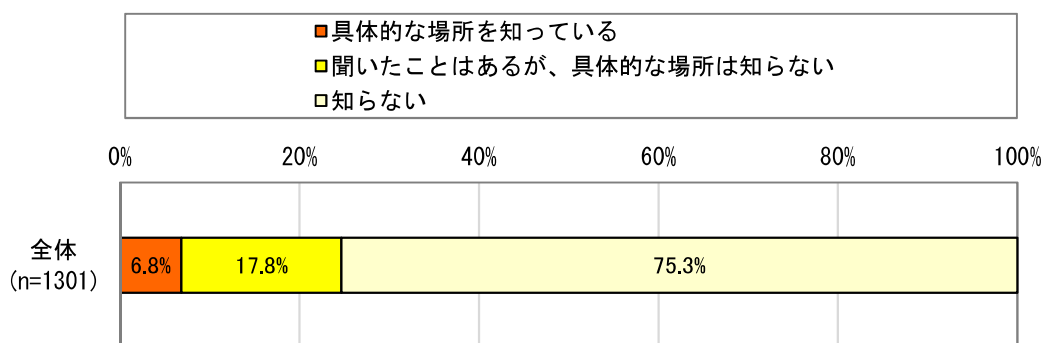
備蓄量を満たしていない理由として、『1人1日あたり3リットル、3日分で9リットル程度の備蓄が必要なことを知らなかったため』と答えた割合が39.0%で最も高い。次いで『保管する場所がないため』が32.9%、『急いで準備する必要はないと思うため』が30.3%、『準備するのが面倒なため』が28.2%の順で続いている。それ以外の項目では1割に満たない。

「その他」の記述回答
2～3日位で水がぬるぬるする気がするので。
2階への移動が重いため2l×6本の1箱
3日以上備蓄すると水質が心配。
9リットル以上を考えていなかった
意識が欠如していた為。
以前備蓄していたが必要なくムダになった。
いつでも自分で準備できる。
井戸がある
今は主人が単身でいない為普段2人家族の為
エコキュートあり
エコキュートのタンク水利用できる
お茶を買っておく。飲んだら補給、他ヤカン、ポット。
重い。かさばる。(リュックに入れている)
買いに行けない。
買って、使ってまた補充するという感じです。
期限切れの水を含めると、9リットルになる。
基本、備蓄することとしているが、常備することを忘れる時がある。
近日中に補充する予定。
交換がめんどろ。
高齢で体が悪い为重たいものが持てない。
子どもがミネラルウォーターを飲めないため、大人とは別にお茶の備蓄があるため。
この位で良いかなという思いから。
今後は、備蓄を検討したいと思います。
災害が発生したとき、それ以外のものも持ち出さなければならないため、水を9lも持ったら他のものが持てないから。
災害の際は準備するがすぐにおこたってしまう。
災害の情報がでてから準備します。空容器を備えている。
昨年のボトルもトイレ、洗い物用として保管している。お風呂の水入れてある。
自分自身の危機感がたりない。
重要度の認識が不足
準備したいと思います

「その他」の記述回答
準備しても日数がたつと衛生面で不安になるため、定期的に水を変えなければならない。それが面倒なため。
準備しようと思っている。
浄水器を使用して確保することを考えているため。
消費期限のたびに入替するのが面倒。
賞味期限があるから。
賞味期限で換えるのが大変
水道局がきれい。
水道水を保存しても良いがくみ替えが大変。
ずっと保管しているといつの間にか消費期限が過ぎてしまうため、あまり多くを備蓄していない
そこまでの意識が無かった為
備え(災害)に対する考えの甘さがあるため
備えていたが飲んでしまった。
台風等前もってわかる場合はその度準備する。
高齢の為、持ち運び等を考え最小限で良いと思うから。
高齢のため。
単身者の為
単身赴任中、出張が多く不在が多いため
近いうちに、そのうちにと思っていてつい用意しそこねている
近くに飲めるいどがある。
近くに湧き水があるため
地下水があるため。
町内会で備蓄している。
つい、後回しになっている。
続かない
定期的な入れ替えが面倒なため。
定期的に入替しており、ペットもいる為、他用もあるため
特に意識していないから。
取りあえず、1人分の身に付ける緊急時用品を持っている。
なかなか買って備蓄すると言う意識的に思いつかない。
何に備蓄にすれば良いか？どれ位で入れ替えるのか？が良くわからない。
何も考えていなかった。

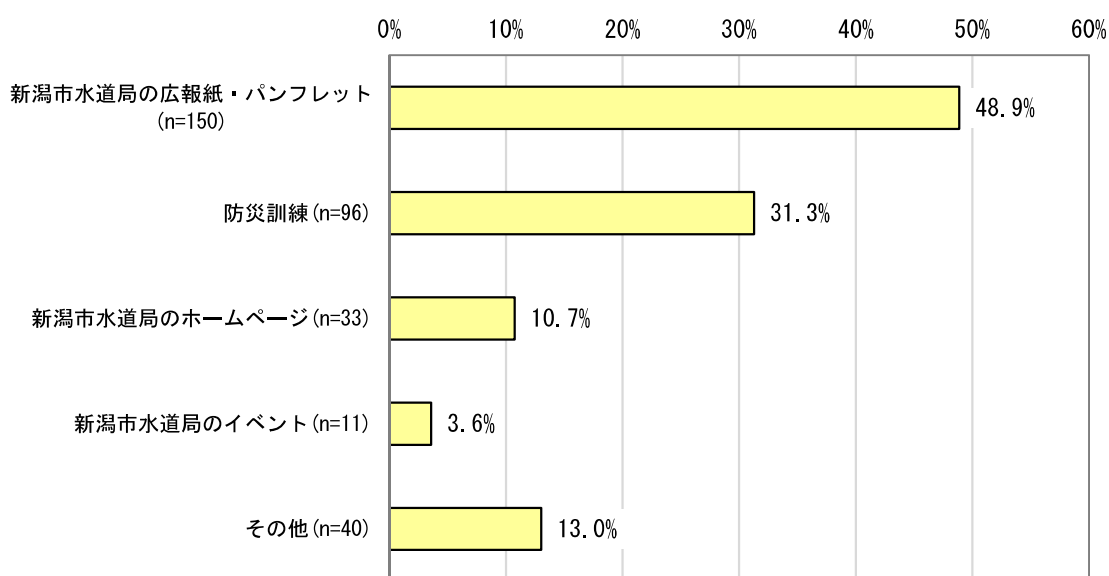
「その他」の記述回答
何も考えない
ニュース見て準備した事ある。
飲みながらつかするから。又、他の飲み物で9リットルある。
非常時を想定していない。
備蓄していても地震あったりしたら、とりに行けなかったり、破裂していたらと思うと
備蓄している時としていない時がある。
備蓄方法を詳しく知らないため。購入していたこともあるが、水道水で備蓄しながら、使用して、回していく方法が正しいか分からないのでできずにいる。
備蓄水の安全性疑問を持っている為(容器の管理が大変と思うので安全性)。
必要と思っているが人数分の量の入れ替えが大変である！！(年数によりペットボトルの数入替え)
人事とってしまった
1人で持ち運べないため。
一人のため買出しが重いため遂、後日と延ばしてしまう。
ひなんする時に重いため
ペットボトル備蓄の他に他の容器に水をためるつもりだから。
ペットボトルを購入している。
保管の方法がわからない。
毎日医者薬を飲む人がいるからそのくらい。
前に備蓄していて賞味期限がきれてから、買い直していないため。
水以外の飲み物も多めにある為
水は何年保存出来るのか、がわかりません。
水は古くなるとカビが出るから。
水を備蓄といっても、保存期限があるので、1回買って終わりではない。それを思うと簡単ではない。
ミネラルウォーターで備蓄あり。
山の水利用。
用意しておくが、高齢でもち歩けない。
用意をしているがいつの間にか飲むなり処理しないといけないので面倒。

(該当質問5-3) 拠点給水所(市内30か所)の認知度



認知度について全体でみると、「具体的な場所を知っている」が6.8%、「聞いたことはあるが、具体的な場所は知らない」が17.8%となっている。「具体的な場所を知っている」「聞いたことはあるが、具体的な場所は知らない」を合わせた割合は、24.7%で、約4人に3人が「知らない」と答えている。

(該当質問5-4) 拠点給水所を知り得た方法(複数回答)

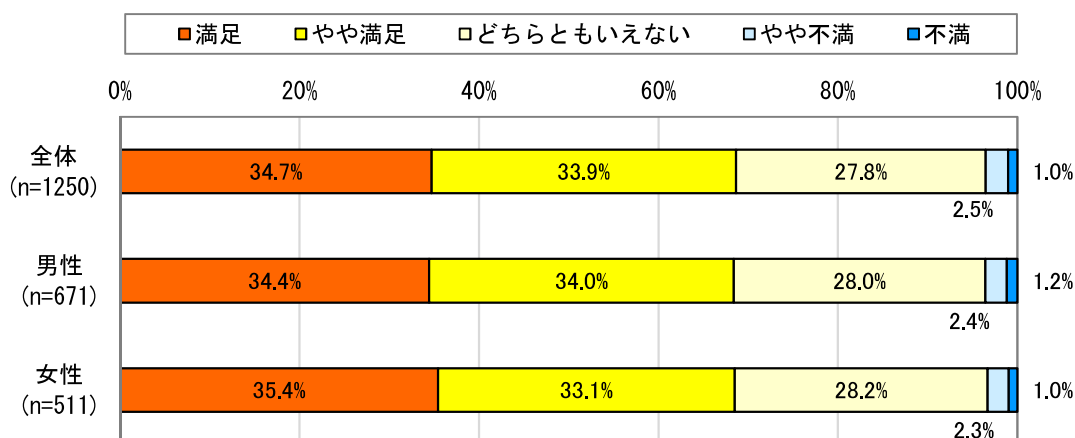


全体でみると、「新潟市水道局の広報紙・パンフレット」が48.9%で、約半数を占めた。

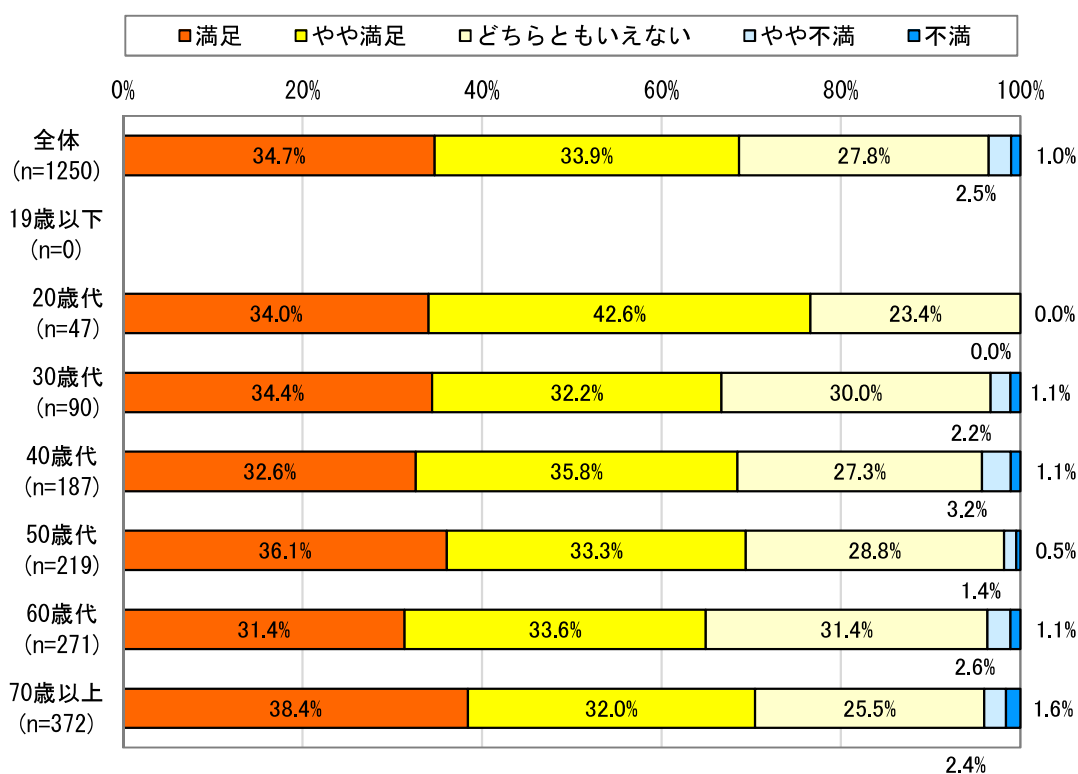
「その他」の記述回答
青山浄水場？
青山水道局の近くに住んでいる。
ウォーキング、ハイキング途中。
うわさとして。
風のうわさ。
家族から聞いたが、場所は分からない。※家族は水道局広報紙を見て知った。
家族と近所の人が話していた時
家族に聞いた
近所に居るので。
公園内に在るから。
工事の時。
子ども(小学生)を通して
このアンケートで知った。
散歩の時に分かった。
散歩をしていて…知りました。
仕事上でわかっていた。
自治会での役員会議
集合小学校？
小学校の校外学習で行った事があるのでなんとなく。
浄水場が最寄りの小学校のすぐ近くにあるので。
消防団員だから知っている。
知らなかった
竹尾配水場はよく歩いて花見をするので知っている
近くをよく通る。
テレビか誰かに聞いた事がある。
テレビのニュース。
時々その近くを通っている。
なんとなく、友人との会話で知っている程度です。
人から聞いた。
人づてに聞いた。
防災教室、しかし備蓄はびっくりするほど少量又はなし。
歩行中

「その他」の記述回答
まだ知らない。
元設備(水道屋)
友人から。
友人より聞いた。

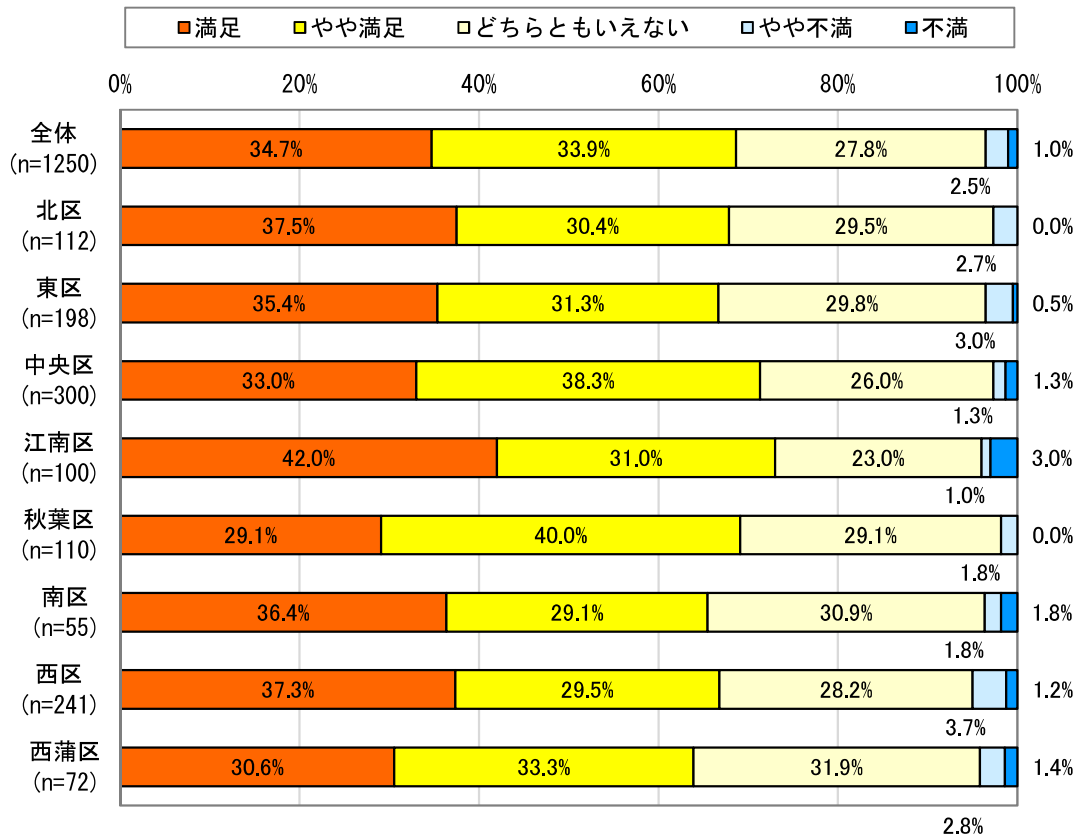
(6) 安定した給水の確保に対する取り組みを総合的に見た満足度



全体で見ると、『満足』『やや満足』と答えた人の割合は、68.6%で約7割を占めた。性別で見ても、性別による差はほとんど無い。



年代別で見ると、『満足』『やや満足』を合わせた割合は、20歳代が76.6%で最も高い。次いで70歳以上が70.4%、50歳代が69.4%、40歳代が68.4%の順で続いている。



居住区別でみると、『満足』『やや満足』を合わせた割合は、江南区が73.0%で最も高い。次いで中央区が71.3%、秋葉区が69.1%、北区が67.9%の順が続いている。

「やや不満」「不満」の理由
5-3拠点給水所を知っていますかの問いですが、ハザードマップ(中央区、総務課、防災課)から発行されている所にも掲載されていないのに違和感を感じる。
井戸水の活用もしてほしい。
各家庭に配給があればありがたいです。
給水確保しても長期持続出来ない。
給水場所まで行けない。
拠点給水所については知りませんでした。広報誌などに掲載されている時もあるのかも知れませんが、具体的な内容(目的・規模・対応方法 etc.)について出来るだけ多くの周知を図っていただけると有難いです。
拠点給水所の数が市の面積、人口の割合からすると少ないと思う。
拠点給水所の場所かどうかすぐに分かるように看板や目印等ってあるんですか？災害時の事などから30ヶ所と言うのは少ないような気がします。
経年劣化に伴う漏水防止対策で配水管の更新を進めると述べておりますが、住んでいる地区の老朽化(経年劣化)がどの程度なのか不明で、漏水状態でも放ってある。業者に依頼すれば費用負担が生じ、診断ぐらい水道局でお願いしたい。
広報が足りていず知らない人が多い。
広報しているつもりでも必ずしも行き渡っていない。
災害対策の取り組みを知らない。
災害用備蓄としての水の量さえ知らなかった我家の備蓄はあくまで自主的に行っている。広報としての回覧板の意義を発揮していないと思う。
市からの連絡がないから。
質問項目はすべて実施しなければならない項目で、評価には向かない内容となっている。
市内で30ヶ所は私の方には給水は後回しになると思う。給水車が不足して新潟の方だけでこちらにはまわってこないと思う。
市民への発信(周知)が不十分。
周知されていない。
主配管が耐振されず枝分け部分のみ耐振化している。
準備するのに面倒なく取り組みが出来る、県体制を周知させる
情報の提供、周知徹底が不十分。
書面では良いことを言っても実際の場面で、しっかりと応急給水が可能なかわからないため。国等の厳しいやりとりで、スムーズな臨機応変な対応が望めるか不明なため。
知らないから。
知らないことが多すぎる。

「やや不満」「不満」の理由
知らなかったことは責任(自分に)ありますが、市内に30ヶ所では少ないと思います。
水道局がキライ。
先日防災訓練に行きましたが、拠点給水所の話はなかったです。
テレビ等で市民に分かるような情報提供をして欲しい。
取り組み実態がわからない。広報等で掲示していますか？
取り組みに対しての意識が低いと反省しています。
認知度が低い。給水所がどこかわからない。
必要性や場所をもつとPRして下さい。
不安、信頼感無。
防災訓練等直接的な催し等の際、説明して欲しい。
見た時がない。
もっと公報すべきだ
利用している者が飲料水として飲めないと言っている。由々しき事である。ほんとうにこのアンケートを見て、参考にするなら、何故なのか、確認してほしいし、原因について説明してほしい。広報活動では職員と利用者との直接的な接触行動があまり見うけられない様に思はれる。直接出て、現場の聞けていなかった意見を直接聞いて見る活動も必要なのではないのでしょうか？